

第2章 地域の概況及び地域特性

第 2 章 地域の概況及び地域特性

2.1 調査対象地域等の設定

事業計画区域及びその周辺における自然的社会的状況に関する情報を収集し、事業計画区域を含む周辺の地域特性の把握に努めました。

自然的社会的状況に関する情報の収集は、図2-1に示すとおり、事業計画区域を中心とした区域(約4km四方)(以下「調査区域」とします。)を対象として行うことを基本としました。なお、統計データの情報収集に関しては、横浜市青葉区、川崎市麻生区、宮前区、多摩区(以下「調査対象地域」とします。)を対象としました。

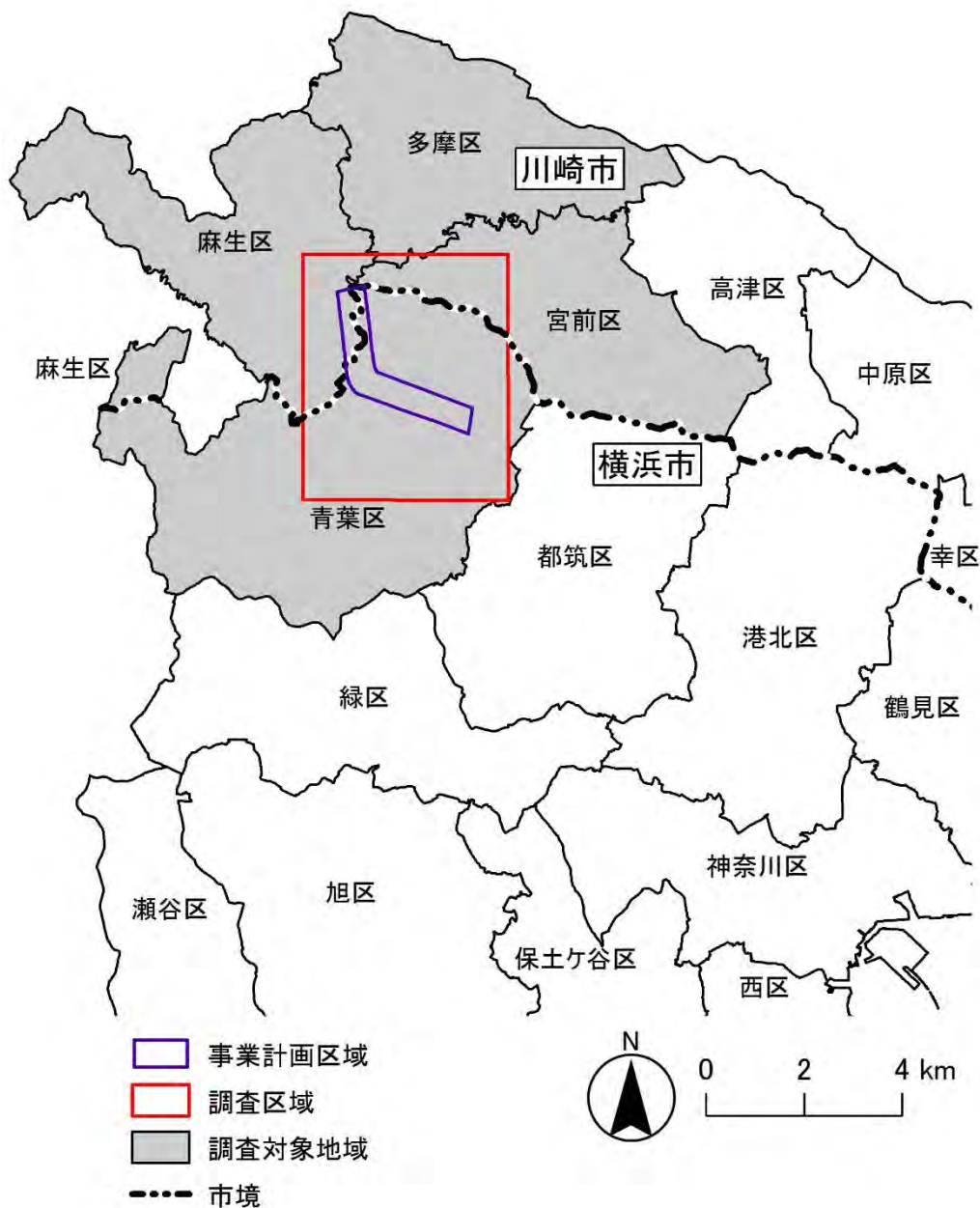


図2-1 調査対象地域等の位置

2.2 地域の概況

2.2.1 気象の状況

横浜地方気象台（横浜市中区山手町）で観測された気象の状況は、表2-1に示すとおりです。

令和元年における平均気温は16.9℃、平均風速は3.5m/s、最多風向は北、降水総量は1,937mmとなっています。

表2-1 気象の状況（令和元年）

項目	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (℃)	16.9	6.6	7.9	11	13.9	19.8	21.9	24.3	28.4	25.3	19.9	14	9.4
最高気温 (℃)	35.6	16.3	20.6	22.1	24.7	31.3	31.1	33.8	35.6	34.2	30.6	23.5	20.3
最低気温 (℃)	-0.2	1.2	-0.2	2.3	3.6	9.7	15.2	17.8	22.6	19.2	12.8	3.9	3.6
平均湿度 (%)	68.0	48	57	58	61	66	79	86	77	75	76	65	64
平均雲量 (10分比)	6.7	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均風速 (m/s)	3.5	3.7	3.8	3.9	3.7	3.5	3.4	3.1	3.7	3.1	3.7	3.5	3.4
最多風向	北	北	北	北	北	南南東	北	北	南西	北	北	北	北
日照時間 (h)	2,020.7	213.4	124.2	184.7	194.3	234.5	151.9	97.2	219.5	166.4	116.5	176.5	141.6
日照率 (%)	46.0	69	41	50	50	54	35	22	53	45	33	57	47
降水総量 (mm)	1,937	14.5	48.5	101.0	93.5	152.5	271.0	175.0	86.5	282.0	464.5	114.0	134.0

資料：「過去の気象データ・ダウンロード」（気象庁ホームページ 令和2年5月参照）

2.2.2 地形、地質、地盤の状況

1) 地形

調査区域の地形の状況は、図2-2に示すとおりです。

「土地分類基本調査図（地形分類図）」によると、事業計画区域周辺の地形は、造成により平坦地化された人工地形であり、黒須田川、早瀬川及び平瀬川沿いは盛土による人工地形となっています。

事業計画区域南側の鶴見川沿いは谷底平野とその周辺に山麓緩傾斜が広がる地形となっています。

2) 地質

調査区域の地質の状況は、図2-3に示すとおりです。

「土地分類基本調査図（表層地質図）」によると、事業計画区域周辺の地質は、河川沿いに分布している低湿地性堆積物、自然堤防及び砂洲堆積物と、河川沿い以外に分布している相模層群の多摩Ⅱローム層・おし沼砂礫層と上総層群の王禅寺層で形成されています。

また、地質断面は、図2-4に示すとおりです。

「土地分類基本調査（垂直調査）」によると、事業計画区域周辺は第三紀鮮新世の上総層群を基盤とし、第四紀更新世の立川・武蔵野・下末吉・多摩ローム層のローム・凝灰質粘土や相模層群の粘土・砂・礫層などから構成されています。

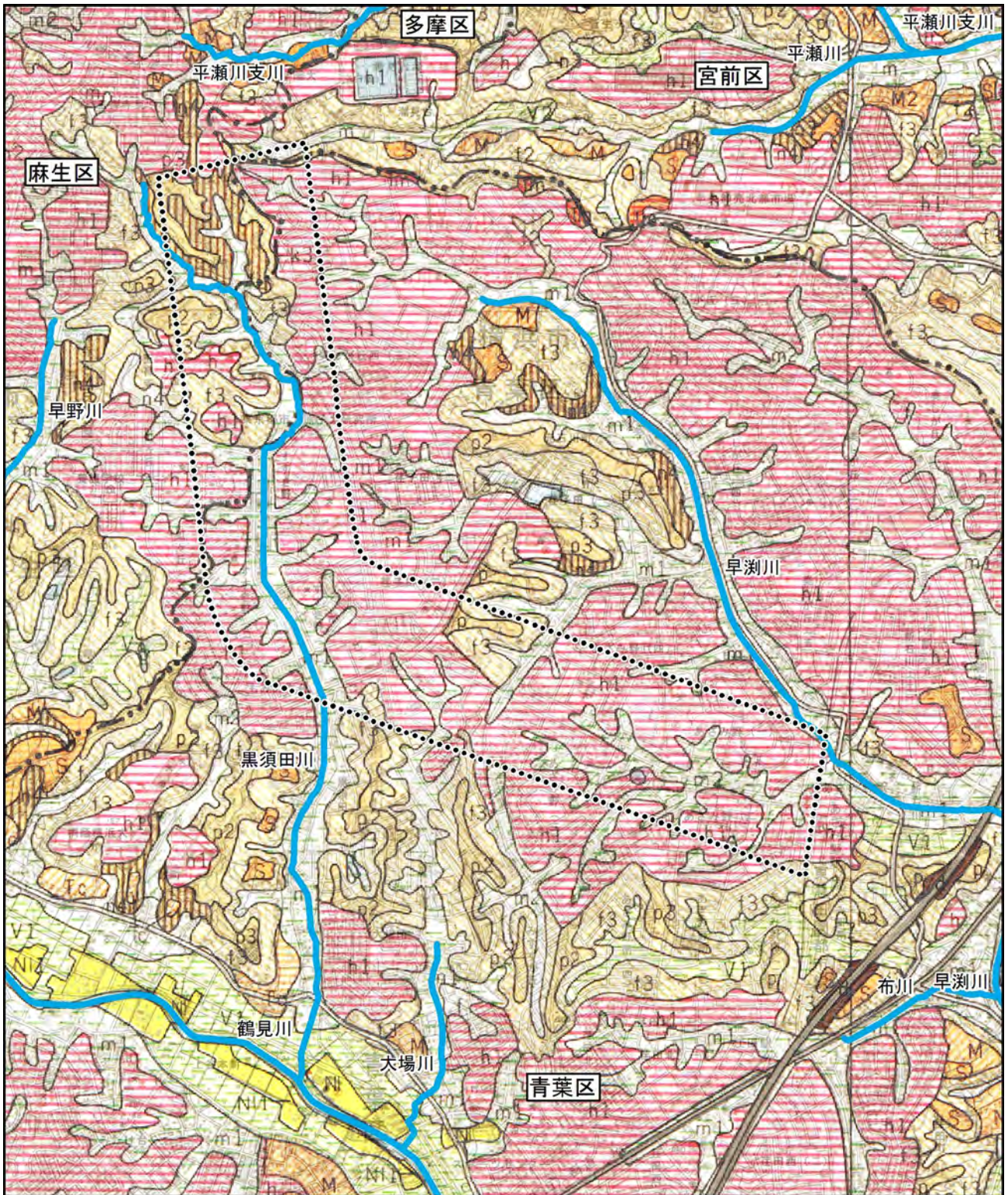
3) 地盤

調査区域の土壌の状況は、図2-5に示すとおりです。

「土地分類基本調査図（土壌図）」によると、事業計画区域周辺の土壌は、大部分が大規模造成地となっており、そのほか林業土壌黒ボク土、人工改変台地土、人工改変低地土、細粒強グライ土となっています。

また、軟弱地盤の状況は、図2-6に示すとおりです。

事業計画区域のうち青葉区内のほとんどが丘陵地及び台地面となっていますが、一部河川沿いの盛土による人工地形部や谷底平野には層厚5～10m程度の軟弱地盤が存在しています。また、川崎市麻生区の一部の地域については比較的ゆれやすい地域が存在しています。



凡例

- 事業計画区域
- 市境
- 区境

		傾斜区分			
		0~3°	3~8°	8~15°	15~30°
一般山地	山頂緩傾斜	p1	p2	p3	
	山麓緩傾斜	f1	f2	f3	
	一般傾斜				n4
段丘地形	下末古段丘面群	s	s	s	
	武蔵野段丘面群	m	m	m	
	立川段丘面群	lc	lc	lc	
低地の微高地	自然堤防	nl			
低地の一般面	谷底平野	v1	v2	v3	
	旧河道	ar1			
人工地形	平坦地化	h1			
	盛土地	m1	m2	m3	



1:25,000

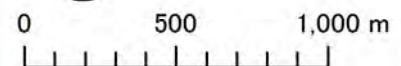
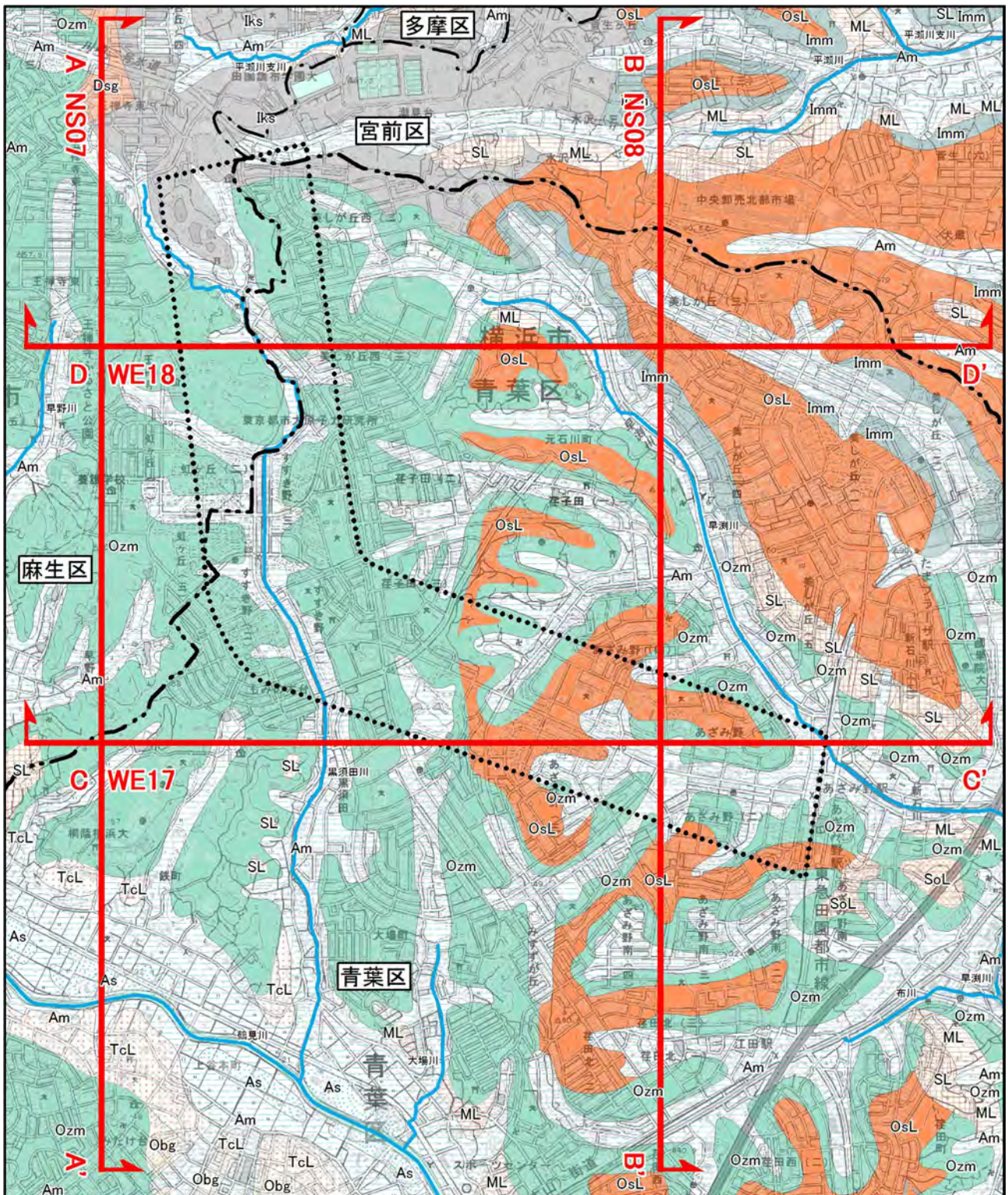


図2-2 地形分類図

資料:「土地分類基本調査図(5万分の1地形分類図)横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」(神奈川県 平成3年3月)



凡例

⋯⋯ 事業計画区域 - - - 市境 - - - 区境

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 沖積層 | SoL 早田ローム層・舞岡ローム層・鶴見層・舞岡層 |
| Am 低湿地堆積物 | OsL 多摩Ⅱローム層・おし沼砂礫層 |
| As 自然堤防及び砂洲堆積物 | 上総層群 |
| 新期ローム | Imm 飯室層 |
| TcL 立川ローム層・立川礫層 | Iks 生田層 |
| ML 武蔵野ローム・武蔵野礫層 | Dsg 出店層 |
| 相模層群 | Ozm 王禅寺層 |
| Obg 小原台砂礫層・善行礫層 | 水部分 |
| SL 下末吉ローム層・下末吉層 | 原図水部分 |

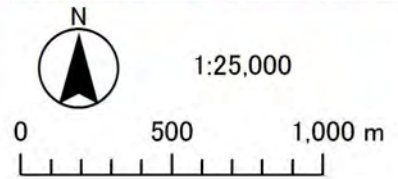


図2-3 表層地質図

資料：「土地分類基本調査図(5万分の1地形分類図)横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」(神奈川県 平成3年3月)

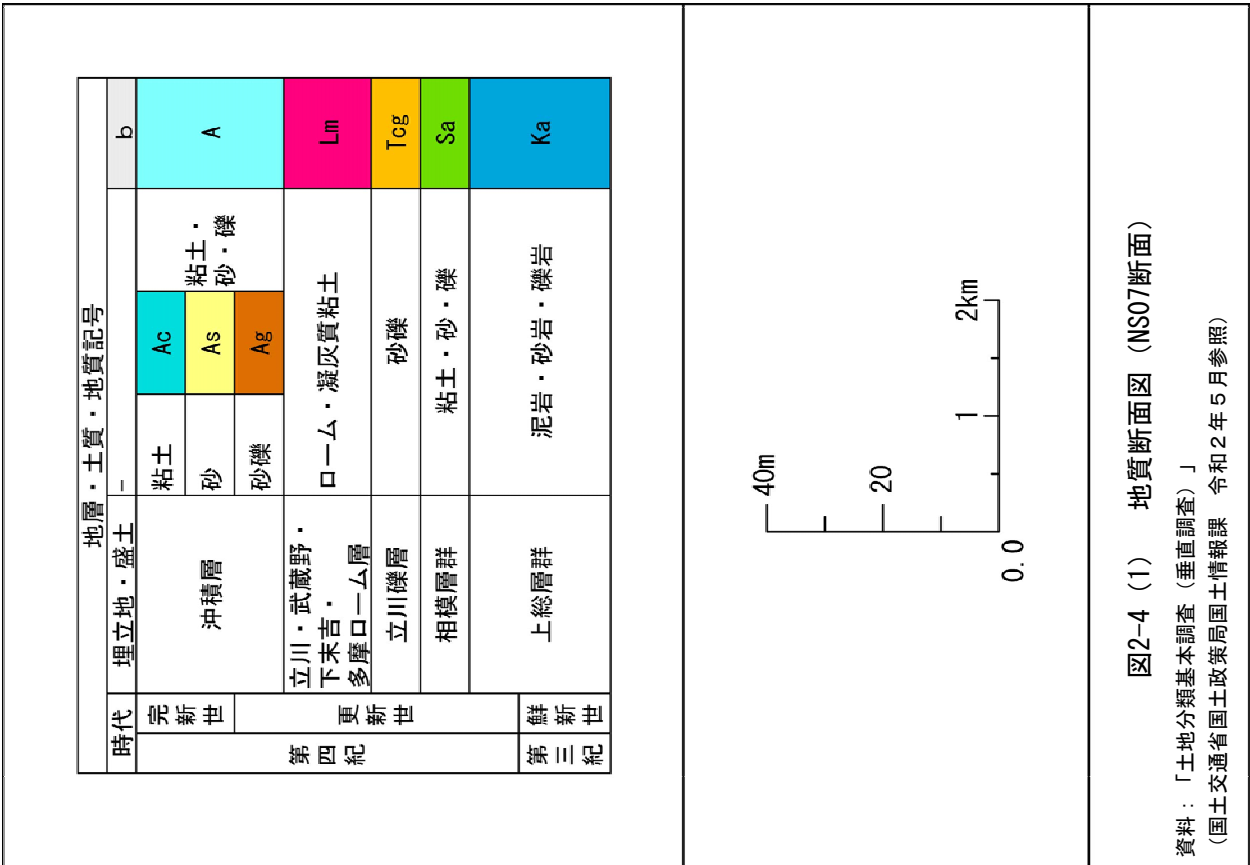


図2-4 (1) 地質断面図 (NS07断面)

資料：「土地分類基本調査（垂直調査）」
 (国土交通省国土政策局国土情報課 令和2年5月参照)

